

## 各委員から提出された事前意見と、その反映結果について

## ○中野委員

ページ	ご意見等	結果
11～12	<p>基本目標 2-(2)-①</p> <p>●国内観光プロモーションの強化</p> <p>●海外観光プロモーションの拡充</p> <p>上記表現は 20 年ほど前から全く変わっておらず、新しい取組のイメージにはならない。</p> <p>例えば、「観光客をのぼす」などの表現にするなど工夫してはどうか。</p> <p>また、「SNS の活用」なども文言として取り入れてみてはどうか。</p>	<p>資料 4 第 2 期函館市活性化総合戦略(素案)に係る修正比較⑩⑪のとおり修正。</p>
全体	<p>計画終了年次 R6 における市のイメージを明確にしたうえで、それを実現させるための攻めの姿勢の取組を載せるべきではないか。</p>	<p>各項目には新規事業も盛り込んでいるが、人口減少対策は一定期間事業を継続することにより成果が出るものであることから、全体として継続事業が多く感じられることは、ご理解いただきたい。</p>
全体	<p>人口推計に合わせて税収など歳入推計を人口ビジョンにおいて示すべきではないか。</p>	<p>人口ビジョンについて、今回は時点修正ということとしているが、全体の改定時には検討することとした。</p>

○外崎委員

ページ	ご意見等	結果
5, 11, 18, 19	<p>基本目標 1 ②「健康で元気に生活できる環境づくり」、基本目標 2 ①「観光客等の増加をめざす取組」、基本目標 3 ⑤「文化・スポーツの振興」に含まれる「●函館マラソンの魅力向上やスポーツ大会・合宿誘致の推進」といった項目は、独立しながらも横串を通して、一体化した考え方を打ち出すことはできないか。</p> <p>また、市民のがん検診の受診率の低さを逆にとり、健康・スポーツ・観光都市であることを市民のみならず、外部にも打ち出しながら推進してはどうか。</p>	<p>市で実施する事業の多くは、福祉や教育、経済など各分野が相互に関連しあっており、総合戦略では最も合致する基本目標に事業を組み入れているところである。</p> <p>そのため、提案いただいたケースに限らず、実際に施策を行う際には、各事業が連携しながら総合的に推進してまいりたい。</p>

○三島委員

ページ	ご意見等	結果
2	<p><b>5 計画の基本目標</b></p> <p>Society5.0 に IoT や AI は含まれているため、それを併記する必要があるのか。</p>	<p>資料 4 第 2 期函館市活性化総合戦略(素案)に係る修正比較①のとおり修正。</p>
8～10	<p><b>基本目標 1 ⑤～⑦</b></p> <p>IT 人材の育成や小学校教育に関する取組では、Education2030 という表記を入れた方がわかりやすいのではないか。</p>	<p>教育分野に携わる方には浸透している表現ではあるが、専門性が高い言葉であることから、今回は修正しないこととしたい。</p>
<p>※ Education2030 (OECD)</p> <p>OECD が 2015 年から進めているプロジェクト。2018 年に学校に入る子どもは 2030 年には成人として社会に出ていくことになる。単に自分が良い仕事や高い収入を得ることだけではなく、友人や家族、コミュニティや地域全体の幸福のことを考えなければならない。教育を通じてこのような考え方を身に付けるための方策について、各国が情報交換しながら、予測不可能な時代、人生 100 年時代の到来に向け、知識・スキル・人間性をどのように育むかを検討するプロジェクト。</p>		